

平成 24 年 9 月（第 41 号）



会話が弾む！笑顔が出る！

「給食サービス」

社会福祉協議会が週 1 回のペースで給食サービスとして弁当を配布しています。配る人、作る人は地域のボランティアと民生委員の皆さんが行っており、利用者から喜ばれています。また、独居世帯にとっては、声かけ運動にもなっており安心して住めると好評をいただいています。



配達する方の声

最近では配達ボランティアが増え、2 人体制で配っているため時間的に余裕ができ、会話も楽しめます。待ってくださっている方もいるので、配る側も楽しみです。



このサービスは、80 歳以上の独居世帯・高齢者世帯が対象です。

特別に認められるケースもありますので、最寄りの民生委員さんに相談してください。

現在、配達ボランティアの皆さんと弁当を作るボランティアと民生委員の皆さんで支えられています。

1 回 100 円の負担金が必要となっています。

笑顔と弁当を運ぶボランティアの皆さんに感謝申し上げます。



この給食サービスにかかる経費の不足分は「赤い羽根共同募金」で賄われています。皆さまのご協力により成り立っています。ご協力ありがとうございます。

三重おもいやり駐車場利用証制度

10月1日スタート

身体に障害のある方や要介護高齢者（要介護1～5）の方などで、歩行が困難な方に、公共施設や店舗などに設置される「おもいやり駐車場」の利用証を交付する制度です。最近、「少しの間だけだから」と言って、車いす使用者用駐車場に駐車するケースが見られ、マナーが問われています。車に掲示する国際シンボルマークや身体障がい者マークが正しく使われていないケースも見受けられます。

この制度は、皆さん一人ひとりの「おもいやり」「ゆずりあい」の心が欠かせません。歩行が困難な方が利用しやすい駐車場になるようご理解ご協力をお願いいたします。



優先駐車場
公共施設や店舗などに設置
このマークの駐車場が目印！

利用証を車に掲げて駐車してください。



■おもいやり駐車場の利用をお考えの方へ

利用証の交付を受ける方は、大杉谷出張所で申請できます。

交付対象者は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、要介護高齢者、難病患者、妊産婦、けが人です。要件によっては医師の診断書などの添付書類が必要になりますので大杉谷出張所にお問い合わせください。

■利用証をお持ちになる方へ

駐車場には限りがあります。体調の良い場合などは、車いすを使う人におゆずり下さい。

人口の動き（前月比）

住基人口	世帯数
277 (±0)	152 (±0)

男	女
117 (±0)	160 (±0)

あとがき
先月新聞を読んでいて、こんな記事が載っていました。
認知症にならないためには、目標を持つこと。目標は大きくなくてもいい。何でも良いらしいです。
目標を持つことが生きがいになって、認知症になっている暇がないというのでしょうか？
いくつかの目標を挙げると「毎日歩く」「毎日体操をする」「盆栽を育てる」「釣りに行く」など、どんなことでもいいそうです。庚申さんの掃除をさせていただいている方もいます。これも認知症にならない良い秘訣ですね。
〔野呂〕

大杉谷集落支援員の近況

皆さん、10月中旬を目途に新しい集落支援員が大杉谷地区に配属されることになりました。

今回採用した集落支援員は現在大阪市内で暮らしていますが、「もともと自然が大好き。いつかは自然豊かな場所で働き、自然の中にどっぷり浸かって暮らしてみたい」と考えていたようで、ご夫婦で移住される予定です。

前の集落支援員の宮川雅彦君が支援員卒業後も岩井に籍を置き大杉谷自然学校で働いていますが、新しい方にも最長3年間の集落支援の活動で、この地に住み続けられる仕組みづくりを自ら確立していただきたいと考えています。

ほとんどの山間地は、主産業である林業が回復しない限り過疎の解消はできないと考えられています。多くの方が「働く所の無い、こんな山奥にだれが来るものか」といわれます。冷静に考えたら、確かにその通りです。しかし、何とかしなければ大杉谷は無くなってしまいます。国や県そして町が制度事業を作って過疎地域の対策を進めています。これからは全員で知恵を出して地域の存続を考えなければなりません。皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

このご夫婦以外に、もう1名女性の集落支援員の採用を検討しています。正式に決まりましたら次号でご紹介させていただきます。楽しみにしててください。

環境クリーン運動

今年も多くのご参加をいただきまして、環境クリーン運動が実施できました。沿道をはじめ地域全体が綺麗になりました。ご参加、ご協力ありがとうございました。

「第7回どんとこい大台まつり」の開催について(お知らせ)

日時 平成24年11月11日(日) 午前10時(予定) ~
場所 大台町佐原地内(大台町役場周辺)
案内 出店者・出演者を募集しています。
詳しくは実行委員会事務局(産業課:82-3786)

大杉谷移住促進協議会のお知らせ

== 移住促進作業メンバーを募集します！ ==

大杉谷移住促進協議会では本年11月から、大杉谷過疎対策の一環として都会の移住希望者向けに、「民家リフォーム塾・森の暮らし体験塾（仮称）」を開催します。

「移住促進作業チーム」とは、これらをより実効性の高い事業にするために、有志が集まり、企画から実践までの一連の取組みを行なうことを目的に設置されます。メンバーは大杉谷地区だけでなく大台町内外からも広く募集します。

<募集内容>

- ・「どうやって人を呼んで住んでもらうか！」と頭で考え、体で行動するチームを作ります。
地域を愛し、機動力があって、積極的に行動することが可能なボランティアを募集します。
- ・伝統的な民家建築や山村体験事業に興味又は知識がある方は、ご協力下さい。
- ・作業内容：企画立案・体験塾の準備裏方・広報など
- ・その他：随時受付しています。
- ・定期的に会議を開催します。

当作業チームに参加いただける方、詳しく知りたい方はご連絡ください。

大杉谷移住促進協議会 大西・福岡

電話 78-8888 Eメール ijyu@osugidani.jp

大台町久豆199 NPO 法人大杉谷自然学校内 事務局

移住促進協議会とは・・・

地域住民と民間団体、企業、町が連携・協力し、大杉谷地区への移住を促進することにより、限界集落化を緩和することを目的として設置されました。

◎都会に住む田舎暮らし希望者の誘致活動を行なっています。

◎I・Uターンなど移住希望者の相談窓口を設置しています。

(設立) 平成23年6月

(会員) やったる会

大台町役場大杉谷出張所

区長会（大杉谷地区）

Iターン代表

大杉谷自然学校

その他活動に賛同する方

